

対策はこれだ！たまねぎのネギハモグリバエ被害の防ぎ方

背景

- 平成25年、たまねぎにネギハモグリバエが発生して問題となりました。特に玉の部分に幼虫の潜った痕や死骸が認められ、大きなクレームとなりました。
- この害虫の道内における生態は不明で、殺虫剤をスケジュール的に多用して対処するしかありませんでしたので、効率的な防除法の確立が強く求められました。

成果

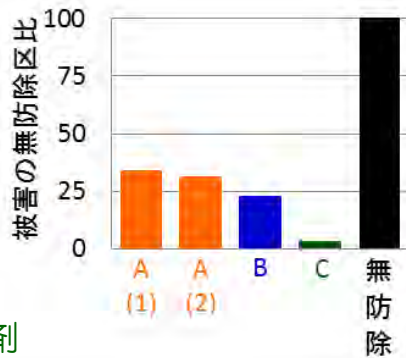
1 本虫はたまねぎ畑で越冬して発生します
発生時期は5月下旬から8月下旬までです。

2 薬剤はこれだ！
以下の薬剤が有効です。

A：スピネトラム剤
(1) 2500倍
(2) 5000倍

B：チオシクラム剤

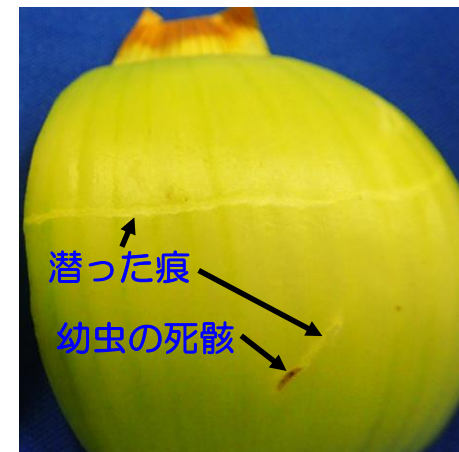
C：シアントラニプロール剤



期待される効果

○ネギハモグリバエの発生地域における効率的な減農薬栽培技術として活用され、品質に優れたたまねぎの安定生産に寄与します。

協力機関：空知農業改良普及センター



3 対策はこれだ！

玉への侵入を防ぐため、
8月上旬に2回散布！！

月	5		6		7		8			
	中	下	上	中	下	上	中	下		
薬剤防除	りん茎被害	害虫の密度を下げるために数回散布				③重点 シアントラニプロール剤 →チオシクラム剤				
	密度低減	①発生が認められた場合 チオシクラム剤 シアントラニプロール剤			②アザミウマと同時 スピネトラム剤 チオシクラム剤					
たまねぎ生育経過							倒伏		枯葉	